

2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域のみちづくりに関する現状と課題

求められる主な取組

- 観光地や広域交通拠点へのアクセス強化による**観光客の利便性の向上**
- 都市間や拠点間の道路整備による**交流・連携の強化**
- 歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- バイパス整備等による**緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保**
- 災害時等にも機能する**広域道路ネットワークの構築**
- 緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- 橋梁をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

道の駅をはじめとした拠点間の交流・連携

平成5年に創設された道の駅制度は、「中国地域づくり交流会」(H2)で山口県の参加者が「道路に駅があってもよいのではないかと提案したことが発端となったもので、本県はいわば道の駅発祥の地です。(道の駅「阿武町」は、日本で最初にできた道の駅のひとつ)
また、萩市は、全国モデル道の駅の萩しーまーとをはじめ7箇所の道の駅が設置されており、全国有数の設置数となっています。
こうした道の駅を拠点とした地域の活性化を図るためには、拠点間の交流・連携を強化する必要があります。

全国モデル道の駅

道の駅「萩しーまーと」は、全国の道の駅の中から、地域活性化や産業振興の成功例として特に優れた「全国モデル道の駅」に選定されました。



道の駅 萩しーまーと



道の駅 萩・さんさん三見



木戸孝允旧宅・指月公園(萩城跡)・菊ヶ浜海水浴場・萩博物館・萩城下町

県内共通 災害等による通行止め

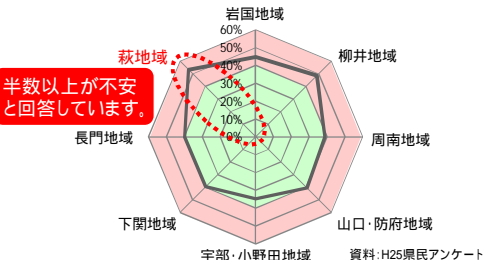
平成25年7月28日、県北部や中部の一部で発生した記録的な豪雨では、河川の氾濫や土石流が発生したほか、唯一の幹線道路である国道191号が通行止めとなり、かなりの迂回を強いられました。
このため、大規模災害時における代替性の確保が喫緊の課題となっています。



【国道191号(萩市大字須佐)】

Q:大雨や地震が起きた際に、安心して道路網であると思いますか？

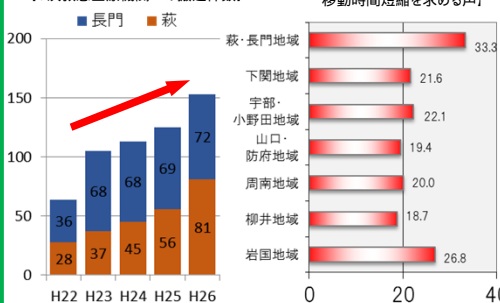
【災害時の道路網が不安と答えた割合】



救急医療活動の円滑化

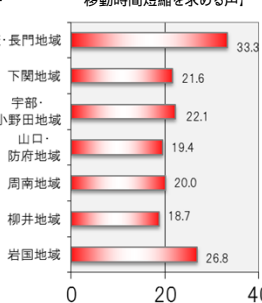
3次救急医療機関への搬送件数は年々増加しており、長門地域では、高度な医療施設への移動時間短縮を求める声が高まっています。

【3次救急医療機関への搬送件数】



資料:消防署ヒアリング結果

【高度な医療施設への移動時間短縮を求める声】

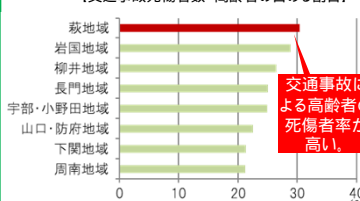


資料:H27県政世論調査

県内共通 高齢者の交通事故死傷者割合

萩地域では、交通事故死傷者数のうち高齢者の占める割合は約4割と、県内の他の地域に比べて高くなっています。高齢者も安心して通行できる道路空間の創出が必要です。

【交通事故死傷者数 高齢者の占める割合】



交通事故による高齢者の死傷者率が高い。

資料:交通統計 令和元年(山口県警察本部)

県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。このため、拠点間連携に寄与している中迫橋や桐ヶ谷トンネルなどの適切な対策が必要です。



県内共通 観光地や広域交通拠点へのアクセス

移動時間の短縮を図り、効率的な観光・周遊ルートの設定が可能となるよう、新幹線駅や空港、高速道路へのアクセス性の向上が望まれます。



観光地や広域交通拠点へのアクセス

移動時間の短縮を図り、効率的な観光・周遊ルートの設定が可能となるよう、新幹線駅や空港、高速道路へのアクセス性の向上が望まれます。



明治維新

萩地域は、明治維新胎動の地として、吉田松陰をはじめ高杉晋作、伊藤博文など多くの逸材を輩出しており、維新志士ゆかりの場所など、多くの名所があります。

世界遺産

「明治日本の産業革命遺産」は、製鉄、造船、石炭産業などの重工業が西洋の技術を取り入れて、日本がものづくり大国となる基礎をつくった歴史を物語っています。萩地域では、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、松下村塾、萩城下町の5つの資産で構成されています。

体験

400年の歴史を誇る萩焼でオリジナルの作品をつくる「萩焼体験」、きものを着て古い町並みを散策する「きもの体験」なども楽しむことができます。

2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」

- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- 生活の利便性の向上

| | |
|-----|--------|
| 8-a | 山陰道 |
| 8-b | 国道490号 |

等

人々のいのちを「守る」

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

| | |
|-----|--------|
| 8-c | 県道萩篠生線 |
| 8-d | 県道萩川上線 |

等

災害に「備える」

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

| | |
|--------|---------|
| 8-e | 県道益田阿武線 |
| 国道262号 | |

等

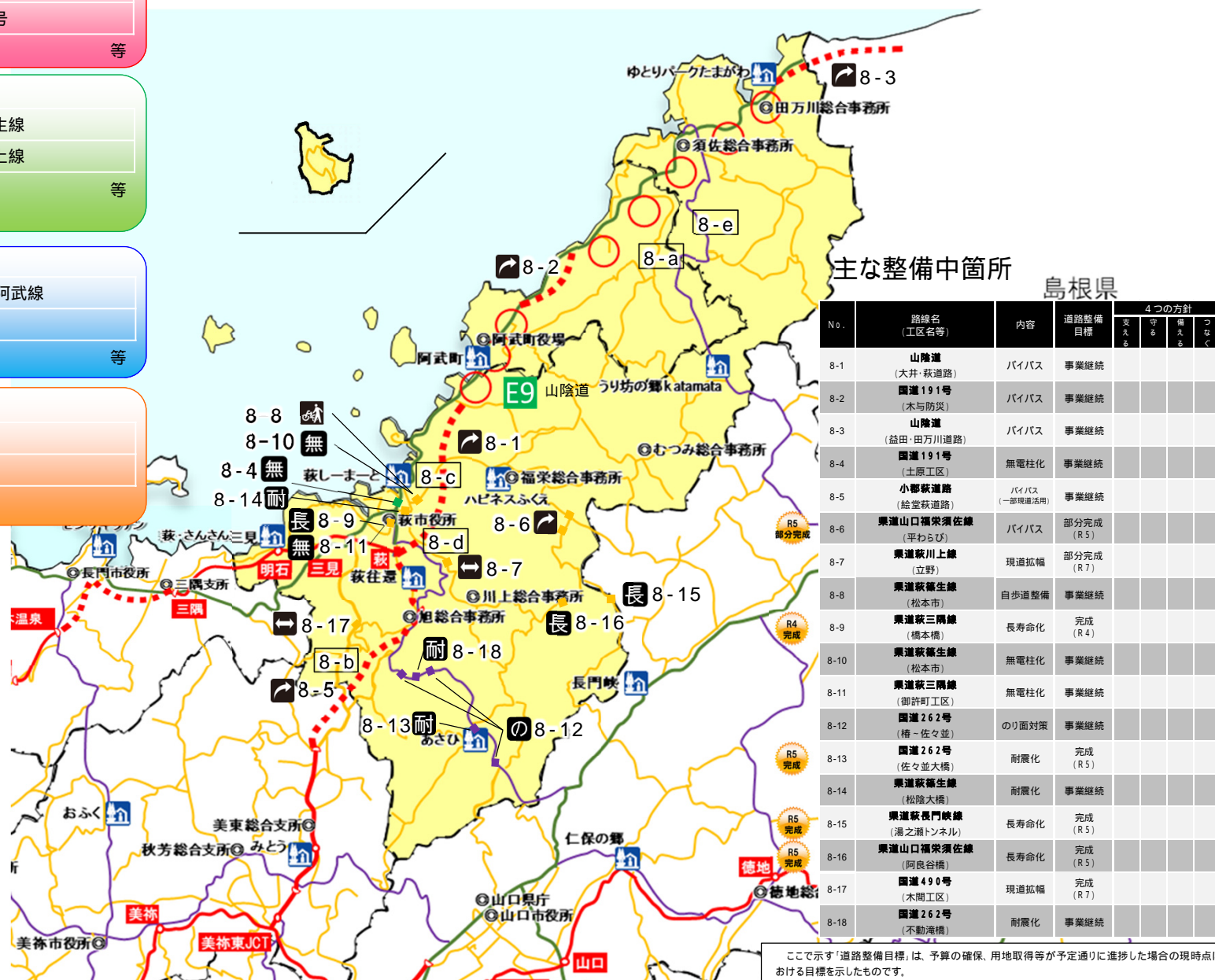
未来に「つなぐ」

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

| | |
|---------|--|
| 国道315号 | |
| 県道萩長門峡線 | |

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- SIC スマートインターチェンジ

道の駅
市役所等



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主な整備中箇所

8-9 64 県道萩三隅線(橋本橋)

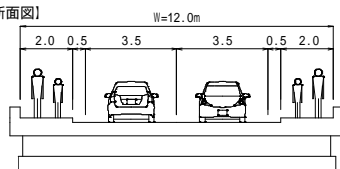
| 支える | 守る | 備える | つなぐ |
|-----|----|-----|-----|
| | | | |

概要

| | |
|------|------------|
| 内 容 | 長寿命化 |
| 延 長 | L = 0.1 km |
| 幅 員 | W = 12.0 m |
| 着手年度 | 平成25年度 |

**R4
完成**

【標準断面図】



整備前

整備後



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

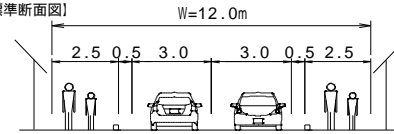
8-11 64 県道萩三隅線(御許町工区)

| 支える | 守る | 備える | つなぐ |
|-----|----|-----|-----|
| | | | |

概要

| | |
|------|------------|
| 内 容 | 無電柱化 |
| 整備延長 | L = 1.3 km |
| 幅 員 | W = 12.0 m |
| 着手年度 | 令和2年度 |

【標準断面図】



総事業費約6億円



目的(効果)

- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ 安全で快適な歩行空間を確保します。
- ◆ 都市防災機能の向上を図ります。



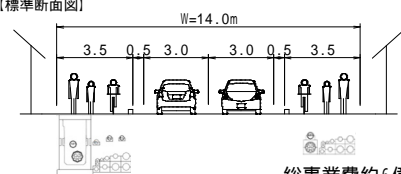
8-10 11 県道萩篠生線(松本市)

| 支える | 守る | 備える | つなぐ |
|-----|----|-----|-----|
| | | | |

概要

| | |
|------|------------|
| 内 容 | 無電柱化 |
| 整備延長 | L = 0.8 km |
| 幅 員 | W = 14.0 m |
| 着手年度 | 平成30年度 |

【標準断面図】



総事業費約6億円



目的(効果)

- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ 安全で快適な歩行空間を確保します。
- ◆ 都市防災機能の向上を図ります。



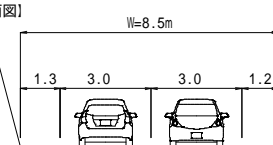
8-12 262 国道262号(椿～佐々並)

| 支える | 守る | 備える | つなぐ |
|-----|----|-----|-----|
| | | | |

概要

| | |
|------|------------|
| 内 容 | のり面対策 |
| 延 長 | L = 2.3 km |
| 幅 員 | W = 8.5 m |
| 着手年度 | 平成24年度 |

【標準断面図】



総事業費約16億円



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主な整備中箇所

8-13 262 国道262号(佐々並大橋)

概要

| | |
|---------|-----------|
| 内 容 | 耐震化 |
| 延 長 | L = 0.7km |
| 幅 員 | W = 10.5m |
| 着 手 年 度 | 平成28年度 |

R5 完成

【標準断面図】 W=10.5m



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



8-15 293 県道萩長門峡線(湯之瀬トンネル)

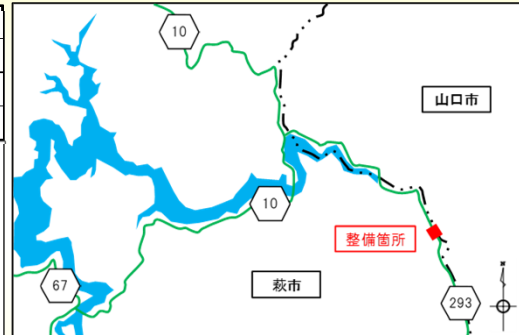
概要

| | |
|---------|------------|
| 内 容 | 長寿命化 |
| 延 長 | L = 0.21km |
| 幅 員 | W = 7.7m |
| 着 手 年 度 | 令和3年度 |

R5 完成

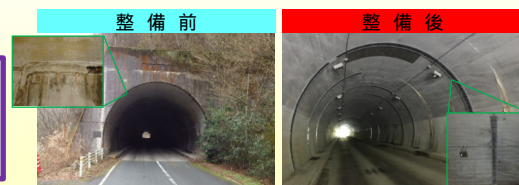
【標準断面図】

総事業費約1億円



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。



8-14 11 県道萩篠生線(松陰大橋)

概要

| | |
|---------|------------|
| 内 容 | 耐震化 |
| 延 長 | L = 0.31km |
| 幅 員 | W = 13.5m |
| 着 手 年 度 | 平成30年度 |

【標準断面図】 W=13.5m



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



8-16 10 県道山口福栄須佐線(阿良谷橋)

概要

| | |
|---------|------------|
| 内 容 | 長寿命化 |
| 延 長 | L = 0.07km |
| 幅 員 | W = 7.0m |
| 着 手 年 度 | 平成29年度 |

R5 完成

【標準断面図】 W=7.0m



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主な整備中箇所

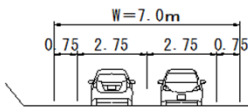
8-17 国道490号(木間)

| 支える | 守る | 備える | つなぐ |
|-----|----|-----|-----|
| | | | |

概要

| 内 容 | 現道拡幅 |
|---------|------------|
| 延 長 | L = 0.4 km |
| 幅 員 | W = 7.0 m |
| 着 手 年 度 | 令和4年度 |

【標準断面図】



総事業費約5億円



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山陰道や萩市街へのアクセス性を向上します。



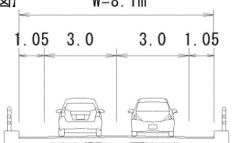
8-18 国道262号(不動滝橋)

| 支える | 守る | 備える | つなぐ |
|-----|----|-----|-----|
| | | | |

概要

| ● 内 容 | 耐震化 |
|-----------|----------|
| ● 延 長 | L=0.06km |
| ● 幅 員 | W=8.1m |
| ● 着 手 年 度 | 令和6年度 |

【標準断面図】



総事業費約4億円



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

